

前 奨 大 連

前橋市生涯学習
奨励員連絡協議会

責任者 大井常利

事務局
前橋市教育委員会
生涯学習課内

〒371-0023
前橋市本町2-12-1
K'BIX元気21まえばし
3階

☎(027)210-2198

学びをつなげる工夫を

地域の方々と一緒に学ぶ

四月から生涯学習課長に就任しました。よろしく願っています。

私は平成一七年度から東公民館、二二年度から中央公民館、二三年度から城南支所と続けて配属され、生涯学習奨励員研修・高齢者教室、市民講座、地域づくり講座と担当してきました。どの事業も、地域の方々と一緒に学び、私自身も成長させていただく貴重な体験でした。なにかと困難なこともありましたが、みんなで乗り越える楽しさも知りました。

九年ぶりに戻ってきた生涯学習の現場は、コロナ禍で様変わりしており、集い、学ぶ場であるはずの公民館は閑散とする日々が続きました。家の外では人と離れる、なるべく話さないことが当たり前となり、そのような日常に慣れていくことに、切なさや危機感を感じています。

しかし、危惧するばかりではありません。職員はZoomによる遠隔講座や、動画配信等、デジタルツールを含む様々な手法を駆使しながら、学びを届けるよう努力しています。

デジタルの活用も 公民館の利用を期待



このような新しい手法による公民館の学びは、コロナ禍の対応だけではなく、仕事や子育て、介護等で講座に参加できない方々に、いつでもどこでも学びを届けられるという良さを持っています。実際に集い、学ぶ醍醐味には及ばないかもしれませんが、公民館と縁がないと思っていた方々がデジタルツール等を通して公民館の活動を知り、実際に来館するきっかけとなればと期待します。実現のためには、生涯学習奨励員のみならずのご協力が必要です。引き続きよろしくお願いいたします。

前橋市生涯学習課長 関口 知子
いつでもどこでも学ぶ機会を

生涯学習奨励員さんも同様です。生涯学習フェスティバルや研修会等が中止になる中、逝去された前橋市生涯学習奨励員連絡協議会顧問の島田先生による戦争体験をまとめた冊子を作成・配布しました。前奨連では実践事例発表集を作成する予定で、学びをつなげる工夫をし、地域の方々に牽引して下さっています。

準備も実らず中止に

＝前奨連の年間行事＝ 学習の手引きに冊子を作成

前奨連の令和三年の事業は昨年に続き、コロナ禍のために、全て中止になりました。

まず、全会員が一堂に集い交流し、新年度の行事計画を決める「前奨連総会」が五月一日に中央公民館で開催の予定で、準備作業を進めましたが、自粛のやむなきに至りました。

全会員が参加する「生涯学習フェスティバル」も、展示場所と日程に工夫を加え、九月四日に予定しましたが、感染症の警戒度が下がらず中止されました。

前奨連の関係では、三階で「わが町広報紙まつり」、町の姿を写真などで伝える「テーマ展示」「昔遊び・リサイクル工作ひろば」などが行われる計画でした。

フェスティバルに替わり

『生涯学習新聞』を発行

家で楽しめる活動を紹介

昨年度に続き、今年度も生涯学習フェスティバルが中止となりました。生涯学習活動の実践例や町の奨励員活動を紹介する機会であったイベントが中止となったことはとても残念です。しかし今年は、フェスティバルに替わり「生涯学習新聞」を発行することができました。

A3用紙の簡単な新聞ではあります。が、フェスティバルに参加予定だった

フェスティバルの開催へ向けて、生涯学習推進本部は各団体に意向調査などを行いました。が、実現はなりません。このため、同本部は学びのきっかけ作りとして、「おうちで楽しむ生涯学習」と題して新聞を発行し、全市の自治会長と奨励員に配布されました。

今月と新春に開催が予定された「生涯学習実践研究会」と年始に計画された「前奨連セミナー」も感染症予防のため中止に。実践研究会の自粛を受けて生涯学習推進本部と前奨連の共催で、コロナ禍での奨励員の活動を紹介する「実践事例集」を作成し、来春に配布の予定です。

長く続いたコロナ禍の期間は、日々の生き方を見つめ直す契機でもあります。学びの継承へ向けた皆様のご活躍とご健康をお祈り致します。

（広報委員会）
Ⅱ 関連記事は一面と四面に掲載します

各種団体から記事を募集し、コロナ禍においておうちでも楽しめる生涯学習活動を紹介しています。前奨連からは大井会長が、「感動とふれ合いを求めて」と題して、コロナ禍の奨励員活動について新たに気付いたこと等をコラムとして紹介くださいました。

その他、大人が楽しめる絵本やパズル、アートなどの紹介、簡単にできる脳トレ運動の方法等が掲載されている「生涯学習新聞まなびあい」は、市のHPからもご覧いただけます。

（前橋市生涯学習課 青木 滋旺 稿）

地区だより ④1

感染症防止に配慮し

環境美化などに励む

前奨連理事

一中地区・本町二丁目奨励員

中川原 孝信

駅前通り清掃や花植えも

一中地区は二〇町の生涯学習奨励員で構成しております。この「地区だより」の掲載にあたって、地区事業はないので各町の主に生涯学習に関係する活動状況をお聞きしました。

昨年の二月以来、どの町もそうですが、神輿や山車などの前橋まつり、納涼祭、文化祭、野外学習、敬老会の会食等が実施できず、老若男女が大勢参加し親睦を深める機会を持つことが出来ませんでした。

特に役員以外の普段、行事参加の少ない住民との交流が出来ないこと、子供育成事業や老人会事業も同様にあまり出来ないことも残念な点です。

一方、屋外行事は規模を縮小し、実施している町が多いです。環境美化や健康が主になります。例えば公園清掃(紅雲一、表二、本二)、駅前通り清掃(表二)、広瀬川緑道清掃(千代田一)、

八幡宮公園花植え(本二)、廃品回収(紅雲二、表二、本二、千代田四)、グラウンドゴルフ(本二、南一)、ラジオ体操(各町)などです。

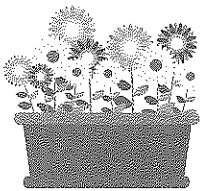
子供の絵画作品を展示

次に、感染防止のために色々工夫して実施した行事を聞きました。時間差ウォーキング(大手一)や敷島公園のマス釣り大会(大手二)、南二では子供育成会を中心に絵画作品を募集し、町内の公園、南部大橋遊歩道脇に屋外展示、通る人の目を楽しませていきます。

前橋まつりは今年も開催出来ず、大手二では町内前橋まつりと称して、公民館で山車を出してお囃子練習(表一、表二も同様)を行いました。

なお、この時期広報紙を再刊した町(表二)もあり、活動が制約されている状況では効果的だと思いました。

「無理していろいろやらない方がよい」という年度前半の不安な状況から落ち着いてきました。各町で予定していた生涯学習講座「いきいきサロン」などこれから動き始めるとしています。当分ウィズコロナが続き、実施の場合は十分検討するということだと思います。



生涯学習奨励員。いま、わが町で。

「健康講座」に大勢が集い

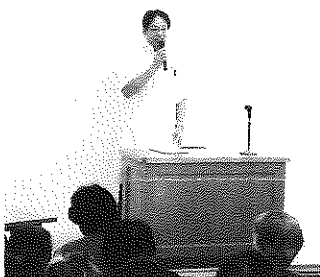
有意義な時を過ごす

南橋地区・南橋町奨励員

森島 文男

南橋町は、昭和三十七年に青柳町、日輪寺町、荒牧町にまたがる地域から独立させて出来上がった町です。以来、六四年経ち新しい土地柄、強調して訴えるものではありませんが、この一〇年間で新しい高層住宅が三棟たち人口減少に歯止めをしたく進行中です。

私が、奨励員として委嘱された平成三一年四月には欧米諸国では、このコロナウイルスの感染速度が猛烈に速く警鐘を鳴らして、注意がよびかけられました。そんな中、二年前紹介を受けた前橋市田口町の上武呼吸器内科、消化器内科部長の茂木健太先生が、インフルエンザやコロナウイルスについて



関心を集めた健康講座

講義をしていただくことになり、令和二年二月二〇日南橋町として講

座を開くことになりました。

自治会を主体に老人会(橘会)、民生委員、他の団体、を含めて約七〇名の団地住民の方々にお集まりいただき「健康講座」を開催いたしました。三密(密集・密接・密閉)を避け、基本的な衛生管理の徹底を、今以上にマスク着用を呼び掛けていました。

大変、有意義な一時間半を過ごすことができました。毎日が新規感染者の数字を見て一喜一憂をしています。元の状態に戻るには、時間がかかりそうな気がします。落ち着いた中でまた健康講座を開くことを願っております。

尺司神社に祀られる

古代からの二つの神

三中地区・昭和町一丁目奨励員

長岡 英樹

昭和町一丁目の萩公民館脇に石祠の神社があります。尺司神社です。尺司神社の名前の由来は、古代の巨石や立石を拝む習慣が残った石神が「しゃくじん」と読まれ、「しゃくじ」に変化したものと考えられています。村内に疫病がはやりたりすると、霊験あらたかな石が、村々を転々と回り信仰がついてきたとのことでした。

それが、いつのまにか地取りに使った縄尺を祭る「しゃくし様」になったようです。

尺司神社は、もともと昭和町一丁目(旧萩町)にあったわけではなく、前橋市内の清王寺村の東、字尺司にあったものと思われます。明治四三年ころの神社合併により、当初の尺司神社は、立川町熊野神社に合祀されますが、その後、「町内に一つくらい神社がなければ」との町民の強い要望により萩町に複祀されたようです。しかし、なぜ尺司神社が選ばれたかは不明です。

しかも、尺司神社には神像がありません。白馬にまたがった像で、今、前橋八幡宮に保管されています。御神体箱の裏側に「明治四〇年一月一六日、都合上萩村の八幡宮を立川町熊野神社へ合祀する」と記載されていることが確認されました。明治三十七年に、現在の敷島小学校北側にあった若宮八幡宮が焼失し、焼失を免れた御神体のみ立川町の熊野神社に合祀されたようです。戦争等により記録が失われてしまったこと、そして、歴史的な考察が行われてこなかったため、若宮八幡宮の神像がいつの間にか尺司神社の御神体になってしまいました。

出生が異なる二つの神様、古代からの石神と、奈良・平安時代からの八幡宮に由来する御神体が、昭和町一丁目の尺司神社では共に祀られているわけです。

一年ぶりの「サロン」で 懐かしく再会楽しむ

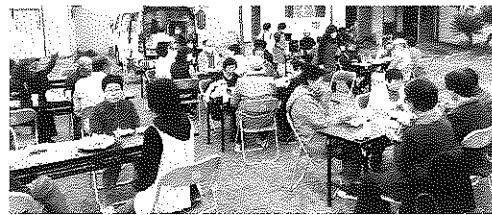
芳賀地区・小神明町奨励員

牧野 進

一〇月二五日(月)九時から「いきいきサロン」が町の公民館で開かれました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年三月から休止していましたが、一〇月初めに「コロナウイルス緊急事態宣言」が解除されたことにより、感染予防対策を徹底したうえで「いきいきサロン」開催となりました。

今回の目玉は「たこ焼き・大判焼き店」の出演で、会場での飲食は無料となりました。町内在住者に、商売道具である「たこ焼きキッチンカー」を持ち込んで協力して頂きました。また前橋市社会福祉協議会、包括支援センター、ほのぼの荘からスタッフの応援参加を受けることができました。

一年半ぶりのサロンであり参加者数を心配していましたが、開始時間近くになると懐かしい知った顔の皆さんが、ぞくぞくと集まり始めました。



久々の再会を喜びあう参加者

全員でピンシャン体操をして体をほぐした後、参加者の皆さんは場所を屋外へ移動し、提供さ

地名と関わりを持つ 稲荷神社の馬頭観世音像

宮城地区・馬場町奨励員

堤 恵

「馬場町」はどこにあるのでしょうか？かつての勢多郡宮城村の七つの大字のひとつで、旧粕川村と接しています。平成一六年、前橋市との合併により馬場町となりました。

この馬場町には昔、桃井播磨守の馬を調練する馬場がありました。鉄砲馬場という直線状で、現代の競争のための円形の形状とは異なっていたようです。走っている馬上から矢を射る流鏑馬や戦闘の訓練を行っていたものです。



文化財になった馬頭観世音像

れた温かな「たこ焼きと大判焼き」を賞味しながらの談笑が始まりました。

接待係のサポーターから配られる麦茶を飲みながら、久しぶりの再会を懐かしむ方や会話を楽しんでいる多くの方の笑顔が見られました。当日の天候は曇りでしたが、時々日射しが見られる心地良い屋外活動となりました。参

それから、農耕に馬を使うようになり人々の生活に馬は必要な存在になりました。馬場町にある稲荷神社前に、宝暦六(一七五六)年「馬頭観世音」が建立されました。ほかの観音が柔和な相をしている中で、諸悪を食い尽くすとされている馬頭観世音だけは忿怒相に造られています。頭上に馬頭をいただくという点と畜生道能化の仏であるという点から、庶民信仰のなかで次第に馬の守護神として信仰されるようになりました。

戦前までは、ムラの人々はもちろん、近在の馬持ちが、馬に乗ってお参りに来て、毎年一月二日のお祭りには、露天商も多数出てなかなかの賑わいだったそうです。

この馬頭観世音は、前橋市指定重要有形民俗文化財「馬場の石造馬頭観世音立像」(昭和五四年四月一日指定)となっています。近くには、「あ・うん石仏」もあります。

興味のある方や、近くにお立ち寄りの方は、馬との深い関わりがあった馬場町をぜひ散策してみてください。

加者が二〇数名、役員・接待サポーターが一〇名余りの「いきいきサロン」再開でした。

次回の十一月例会は早めのクリスマス会を兼ねて、寸劇公演・アコordeオン演奏を予定しています。感染拡大の再発がないことを願います。

中止された令和3年度の行事計画

月・日	会議・事業	主 要 事 項
5月14日	3年度総会(代表者のみ)	▼2年度事業実績・決算、3年度事業計画・予算 ※研修会中止
5月	生涯学習フェスティバル2021第1回代表者会議	▼行事開催計画
6月	生涯学習フェスティバル2021第2回代表者会議	▼具体的開催計画
	総務委員会	▼理事会対応案件他
7月	広報委員会	▼委員会の役割、「前奨連」広報発行ほか年度計画
	研修委員会	▼委員会の役割、生涯学習実践研究会・前奨連セミナー開催ほか年度計画
	第2回理事会	▼3年度基本的方向付け ▼フェスティバル開催計画 ▼広報・研修委員会年度計画
8月	生涯学習フェスティバル2021第3回代表者会議	▼フェスティバルの具体的開催内容の確認
	第3回理事会	▼フェスティバルの開催計画・内容確認 ▼生涯学習実践研究会・前奨連セミナーの開催計画
	会報92号発行	
9月3日	生涯学習フェスティバル2021会場準備作業	
9月4日	生涯学習フェスティバル2021 前奨連=〇わが町広報紙まつり 〇テーマ展示 〇特設コーナー 〇その他	
	総務委員会	▼理事会対応案件他
10月	生涯学習フェスティバル2021第4回代表者会議	▼3年度開催結果 ▼4年度開催計画
	第4回理事会	▼フェスティバルの総括 ▼実践研究会の具体的開催方法・前奨連セミナー詳細内容他
	広報委員会	▼「前奨連」広報発行計画
	研修委員会	▼生涯学習実践研究会および前奨連セミナー実施詳細計画
12月	生涯学習実践研究会	▼地域ブロック別での開催(方法未定)
	会報93号発行	
1~2月	前奨連セミナー①、②	▼2コースを開設予定
2月	広報委員会	▼「前奨連」広報発行計画
	総務委員会	▼理事会対応案件他

コロナ禍の中で工夫凝らす 実践事例を冊子で紹介

毎年一二月に、市内を五ブロックに分けて開催している「生涯学習実践研究会」は会場開催中止となりましたが、現在、冊子上で生涯学習奨励員の活動を紹介する企画が進んでいます。コロナ禍で工夫を凝らし実施した生涯学習活動の紹介記事を募集したところ、一〇名以上の奨励員さんが執筆にご協力くださることとなりました。生涯学

習奨励員の「実践事例発表集」と題した本冊子は、前奨連との共催事業として、来年三月頃に自治会長・生涯学習奨励員の皆様へお送りする予定です。

ただいま冊子は製作中ですが、「コロナに配慮し野外で作品展を行った事例」や、「自粛期間を利用し町広報誌をDVDにまとめ直した事例」等、今後の活動に参考となりそうな内容を掲載予定ですので、ぜひ楽しみにお待ちください。

(前橋市生涯学習課 青木 滋旺)

習奨励員の「実践事例発表集」と題した本冊子は、前奨連との共催事業として、来年三月頃に自治会長・生涯学習奨励員の皆様へお送りする予定です。

◆奨励員情報(敬称略)

〔新任〕

▽4月1日付

南雲 良一	福島 健一	関根 義明	金井 敏樹	丸橋 伸弘	布施 辰男	高橋 房雄	益子 正司	岡田 憲人	角田 堅志	新生 文博	木村 隆義	櫻井 弥栄子	森山 恵里子	鳥居塚 正治	仲澤 伸一郎	加川 幸宏
富士見町原上	大胡町	飯土井町	鳥羽町東部	元総社町第四	元総社町第二	古市町	大利根町	川曲町	三俣町二丁目	高花台二丁目	朝倉町三丁目	上佐鳥町	国領町二丁目	城東町五丁目	城東町二丁目	南町一丁目



前奨連の歴史と出で 島田兼之顧問を悼む

生涯学習奨励員制度の歴史と共に三五年間、会の発展に力を注がれた島田兼之顧問が一〇月八日に百歳で天寿を全うされました。心からご冥福をお祈りいたします。

島田顧問は、長らく市の職員として社会教育の推進へ向けて活動し、昭和六一年に、全国に先駆けて制定された「奨励員制度」に参画され、平成二年に発足した前奨連の生みの親となりました。平成六年には会長に就任し「学びを重ね地域に豊かさを」を目標に、会の運営の基盤を築かれました。平成二五年からは顧問と

して、会を見守り続けました。

また、会の活動の傍ら、自らの悲惨な戦争体験を振り返り、講演などを通して平和の尊さを訴え続けました。

「真心あれば全てに通ず」―これは島田顧問が、かつて講演会で残した言葉です。地域を潤す生涯学習の大切さを伝え続けた島田顧問の「心の遺産」が胸に沁みます。

会に寄せた長年のご厚情に感謝を捧げ、改めてご冥福をお祈り申し上げます。

(前奨連会長 大井 常利)

あゆみ(4月~12月)

▼II主要事項

4・8 ■第一回総務委員会 ■第一回理事會
 事会 ▼令和3年度活動方針 ▼総会関連
 5・14 ■3年度総会・研修会(中止)
 8・13 ■第二回総務委員会(書面開催)
 8・27 ■第二回理事会(書面開催)
 ▼実践事例発表集製作関連
 9・4 ■生涯学習フェスティバル(中止)